

「高校生との意見交換会」を開催しました (経済建設委員会)

本市議会では、「市民の多様な意見を把握する」という議会基本条例の規定を踏まえ、若い世代の意見を聴くことを目的に、高校生との意見交換会を開催しました。

経済建設委員会では、令和6年2月14日、三原高等学校を訪問し、生徒の皆さんが通年で学習している「堅志学」（三原市に関する研究）発表会に参加し、意見交換を行いました。

全37プロジェクトの発表のうち、経済建設委員会の所管事務に関わる16グループの成果発表に、議員2名が1組になって4チームで参加しました。

発表内容は、『商店街の活性化』（漁業の活性化、鯉を活かした観光）、『新商品の開発』（半どん夜市などイベントの調査）、『三原市の魅力発見調査』（YouTube、TikTok、Instagram発信）、『帰りたいまち三原？調査』など、多岐にわたるものでした。

これからも高校生に期待しつつも「将来三原に帰って来たい」との生徒の声には出会えなかったことが残念でしたが、だからこそ、報告内容を参考に若者の多くが期待できる魅力的な政策提言を検討していきたいと思えます。



三原高校での生徒による発表の様子

議員研修会

「議員と人権・自他尊重のコミュニケーション」を開催

私たちが今まで、気にとめていなかった身近な変化として、機内アナウンスでは性的少数者に配慮し「オール・パッセンジャーズ」に、学校などの出席簿は男女別から名前順にするなど、人権を意識し環境が変化する中、令和6年1月29日、大阪企業人権協議会サポートセンターの堀井 悟さんを講師に招き、「議員と人権・自他尊重のコミュニケーション」の演題で開催しましたので、その内容を一部紹介します。

社会において必要な、人として幸せに生きる権利として「自由権」「参政権」「社会権」の基本的な人権が与えられている。

ダイバーシティ＝多様性について、人種や性別、宗教、価値観、障がいといったさまざまな属性をもった人達が、社会の中で共存していることが背景にある。また「パワハラとセクハラ」の基礎知識等々、正しく学ぶことが出来ました。

自分も他人もかけがえのない存在であり、信頼関係を築くには人権尊重が基本である。人権は、市民・議会・地域社会等あらゆる場面に関わっていることを実感しました。



研修会の様子